



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

試合日	2016年8月4日
開始時間	10:00
会場	広島サンプラザ
コート	M
試合順	1

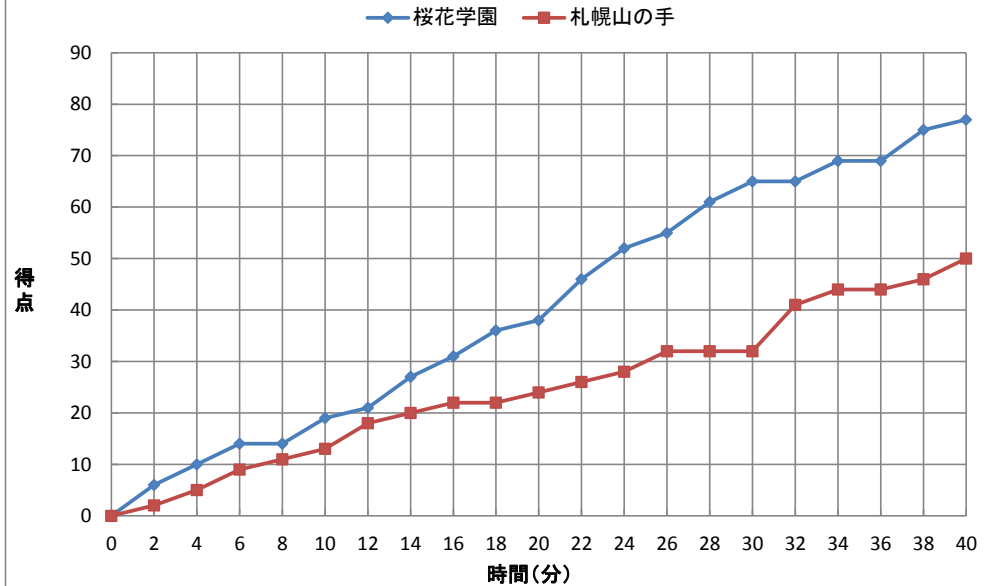
Team A	19	-	13	Team B
桜花学園	19	-	11	札幌山の手
(愛知県)	77	-	8	50
	12	-	18	(北海道)
	-	-	-	

Team A 桜花学園		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	*	馬瓜 ステファニー	20	0	0	9	23	2	2	2	7	8	15	0	4	9	0	38:11
5		平野 実月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1:49
6	*	赤木 里帆	17	1	2	7	17	0	0	0	3	4	7	4	4	0	0	38:11
7	*	粟津 雪乃	12	0	1	5	9	2	2	0	2	3	5	0	0	1	0	21:45
8		梅沢 樹奈	6	0	0	2	5	2	2	5	3	1	4	0	2	1	0	13:33
9	*	山本 麻衣	9	0	3	4	10	1	2	1	6	3	9	5	3	3	0	38:11
10	*	佐古 瑠美	11	1	6	4	9	0	0	2	1	6	7	3	1	2	1	38:11
11		コナテ・カディジャ	2	0	0	0	3	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	4:42
12		樺島 ほたる	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1:49
13		出原 菜月	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1:49
14		藤本 愛瑚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		坂本 雅	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1:49
Team / Coach:		井上 眞一	/	/	/	/	/	/	/	0	0	2	2	0	/	/	/	/
合計		77	2	13	31	79	9	10	11	23	30	53	13	14	16	1		200
RATE		15.4%	39.2%		90.0%													

Team B 札幌山の手		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	*	栗林 未和	15	0	1	7	19	1	3	1	7	11	18	2	4	3	4	40:00
5		田中 未来	0	0	2	0	0	0	0	1	1	2	3	1	2	0	0	15:57
6	*	池田 玲奈	6	2	9	0	0	0	0	4	0	1	1	2	0	0	0	29:14
7	*	河村 美侑	12	2	10	2	10	2	2	1	0	2	2	5	2	1	0	37:01
8		大田 雛子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9		大島 ちさと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10		黒沼 咲百	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		遠山 佳奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4:14
12	*	畠山 愛花	8	0	1	4	10	0	0	1	3	3	6	9	2	1	0	34:02
13		松永 夏海	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2:35
14	*	東藤 なな子	5	0	1	2	7	1	2	0	2	4	6	5	1	3	1	34:54
15		田村 春菜	2	0	2	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2:03
Team / Coach:		神田 英基	/	/	/	/	/	/	/	0	1	2	3	0	/	/	/	/
合計		50	4	26	17	48	4	7	9	14	26	40	24	11	8	5		200
RATE		15.4%	35.4%		57.1%													

主審	山崎 人志	副審	谷古宇孝	緒方 崇
----	-------	----	------	------

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	2:24	: 25:34 32:35	:	:	:	:
TeamB	9:01	17:52 22:59	:	:	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

第1P、両チームともマンツーマンでスタート。札幌山の手が#4の華麗なインサイドプレイで先制。どちらもカバリングの速いディフェンスで、タフショットが多い展開となる。その中で、桜花学園のインサイド陣の活躍がキラリと光る。#4と#8が好守ともにオフェンスの主軸となり、得点を重ねていき、桜花学園のリードでピリオドを終える。

第2P、桜花学園のオフェンスが機能し始め、徐々に得点を伸ばす。#6の1対1や速攻が決まり、流れを引き寄せていく。対する、札幌山の手は#7の3Pや#4のゴール下で応戦。ピックアンドロールを初めとするスクリーンプレイで桜花学園のディフェンスを崩そうと試みるも、連携の取れたチームディフェンスに阻まれ思うように得点することができない。それによって生じた札幌山の手はターンオーバーを、桜花学園は速攻に繋げ加点していく。桜花学園がリードを上げ前半終了。

第3P、開始より桜花学園が#4、#7の連続得点により大きく点差を広げることが成功。流れを変えたい札幌山の手はタイムアウトを取るが、桜花学園の勢いを止めるまでには至らない。札幌山の手#7が1対1で奮闘するが、桜花学園の#6、#9がすぐさま得点し簡単に反撃をさせない。桜花学園が勢いを保ったまま、第3P終了。

第4P、札幌山の手#12がスピードあるドライブインやスティールでチームを鼓舞する働きを見せるが、大きく広がった点差はなかなか縮まらず、終始桜花学園のペースでゲームが進む。札幌山の手は懸命にシュートを狙うが、惜しくもリングに嫌われ、桜花学園の速攻を許してしまう。最終的に、桜花学園が疲れの見える札幌山の手を圧倒する展開で試合を終え、明日行われる決勝への切符を手にした。

戦評	西尾友貴
----	------

記録	広島なぎさ高校
----	---------